

平成 19 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏 名 ハフシ メッド

最終学歴	Lyon 大学大学院博士課程 大阪大学大学院博士課程
取得学位	臨床心理学の D E S S 学術博士
所属学会	日本心理学会 日本心理臨床学会 日本精神分析学会 日本集団精神療法学会
現在の専門分野	精神分析 心理療法 集団精神療法
研究課題	対象（対人）関係の類型とその病理に関する実証的・臨床的研究

【学内活動】（学内職歴を含む）

社会学研究科研究科長 人間関係学科主任 学生相談室長 人事委員会委員 企画委員会委員 国際交流委員会委員 自己点検・自己評価委員会委員 サッカー部顧問

著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
（学術論文）				
1 Caught in the trap of projective identification: Enacting the group's basic assumption of dependency	単著	2006年4月	奈良大学大学院年報第11号	本稿では筆者はグループによる投影同一化という防衛機制的理解に関する独自の論説を提示している。その論説を例示するために、トレーナーとしての筆者が、投影同一の対象になった事例を呈示し、対象関係論、特にKleinとBionの知見から考察している。本稿は、Bionに提唱された「原子価」という概念に関するものである。ここでは、まずこの概念を紹介し、筆者による原子価の類型と親和性に研究結果を記述し、原子価の心理起因に関する理論を提案している。本稿の主要なテーマは、筆者の「マイナス原子価」理論である。ここでは、筆者はマイナス原子価を示しているあるクライアントの事例を呈示し、その理論の妥当性に関する考察を提供している。
2 The chemistry of interpersonal attraction: Developing further Bion's concept of valency	単著	2006年4月	奈良大学紀要第34号	
3 対象関係の病理学を理解するための頂点としての「マイナス原子価」～あるマイナス依存原子価を持った男性の事例	単著	2006年4月	プシコフィリア研究第3号	
（学会発表）				
1 原子価のメタサイコロジーに関する一考察	単著	2006年4月	日本集団精神療学会第23大会	本演では、「原子価」や「マイナス原子価」の両概念と、精神分析における対象関係論特にKleinとBion諸理論との関係を明確にすることと同時に、精神分析における「原子価」の位置づけについて論じた。
（その他）				
1 HAFSIゼミ論文集2004	共著	2005年3月	ハフシ研究室	これは、私の指導の下でゼミ生が2005年度に行った「原子価」に関する実証的研究を編集し、まとめた冊子である。 これは、私の指導の下でゼミ生が2006年度に行った「原子価」に関する実証的研究を編集し、まとめた冊子である。
2 HAFSIゼミ論文集2005	共著	2006年4月	ハフシ研究室	